

# 浅井町ふれあいたより



10月号

重点施策 「安全で安心なまちづくりと子どもたちの健全育成」 発行日 令和2年10月1日  
発行者 浅井町地域づくり協議会 一宮市浅井町前野字郷西 85 (浅井町出張所内)  
ホームページ 138azai.org(検索「浅井町地域づくり」)

## コロナ禍の中で「いのち」を学ぶ ～ICTを活用して～

一宮市立浅井中学校 校長 山田貞二

本年度は、いつもとは違う1学期を過ごすことになりました。新型コロナウイルス感染症の広がりにより、3月から5月末まで休校措置がとられました。学校再開後、生徒の心のケアをはじめとして、感染症予防対策や学習の保障など多くの課題に対応しながら、教育活動を進めてまいりました。

このような状況の中で、様々な活動を停滞させることはできません。本校が平成29年度から進めている「生き方」の学びプロジェクト、つまり「いのち」の授業を、こうした状況であるからこそ推進していく必要があります。コロナ禍の中でこそ学ぶべきものがあります。そこで、この1学期は、学校全体で「いのち」をテーマとして教育活動を進めました。道徳の授業を核として自他の「いのち」について考えました。



例年はゲストティーチャーや講師の方においでいただき、実感のこもった授業を展開しますが、コロナ禍の中ではそれが叶いません。そこで、ICTを活用し、オンラインで授業に参加いただき、生徒と一緒に「いのち」について考えていただきました。今回は一宮市在住の移植体験者の方に体験談を話していただき、道徳の教材の内容を深めることができました。

まだ、しばらくはこのコロナ禍の中での教育活動が続きます。「いのち」の授業だけに限らず、様々な場面でオンラインをはじめとするICTを活用し、地域の方の力を大いに活用させていただきたいと考えています。今後もこのような「いのち」に関わる講演会や授業を数多く企画してまいります。可能な限り、保護者の方や地域の方にもご案内させていただきますので、ぜひ参加いただき生徒の成長を見守っていただききたいと思っております。

## 感謝状贈呈される

長年にわたり、地域での防犯活動並びに子どもたちの健全育成に功績を残された方に、一宮警察と一宮市防犯協会連合会から感謝状が贈呈されることとなり、浅井町からお二人が受賞されました。浅井北校区の小塩高義様と浅井南校区の酒井廣道様です。本来ならば、一宮市防犯協会総会にて一宮警察署長から贈呈される予定でしたが、新型コロナの影響で総会が中止となりました。そこで8月19日(水)に開催された浅井町地域づくり協議会役員会の冒頭、地域づくり協議会長からお二人に感謝状が贈呈されました。長きにわたり、地域の防犯活動、そして子ども見守り隊として青少年の健全育成活動に寄与されました。これからも浅井町民のお手本として一層のご活躍を期待します。誠にありがとうございました。



## 紙飛行機を飛ばそう

8月22日(土)、浅井児童館で紙飛行機を作って飛ばす教室が開催され、感染予防のため、各10名の児童が午前10時と午前11時の2回に分かれて参加しました。東尾関在住の堀一吉さんを講師に招き、子ども達の指導をしていただきました。

堀さんは、手先がとても器用で工作の魔術師です。まず、尾翼から線に沿ってハサミで切り始めていき、山折り、谷折り、糊付けをして飛行機の姿になっていきました。最後に堀さんが児童が作った飛行機の両翼をハサミの刃に乗せて重心を確かめ、バランスのチェックをされていました。その後、完成した飛行機を広いプレイルームで、手で飛ばしてみました。手から離す時にコツがあるので、子ども達はうまく飛ばせませんでした。割り箸と輪ゴムで作った発射台に装着して飛ばすとスーッと遠くまで飛んでいきました。自分で作った紙飛行機が飛んでいく様子がとても楽しくて、どの子も何回も繰り返していました。紙だけで作った飛行機が力強く飛ぶ姿は見ていても気持ち良く、笑顔になりました。

夏休み終わりの楽しい工作のひとつでした。



## 極楽寺町内「見守り隊」の活動

極楽寺見守り隊は8人で、2グループ・



4人の交代制です。主に、低学年の下校時に合わせ活動しています。学校西門から、大野幼稚園の西側までは、大野地区見守り隊の方が同行して頂き、極楽寺見守り隊が県道の押しボタン式信号南手前で待ち受けています。そこから各家庭の近くまで子ども達を送ります。

浅井北小学校からは距離もあり、子ども達は黙々と歩いて、交差点も幾つか渡ります。車の運転中に見掛けられましたら、充分なご配慮を宜しくお願い致します。

## 浅井町の文化財・史跡紹介(3)「浅井古墳群」

一宮市北部から浅井町にかけての地域は、濃尾平野の中心部に位置して多数の古墳がありました。浅井町では、特に、河田・黒岩・大野・尾関の4つの地域に多くが集中しています。

古くから浅井古墳群は「四十八塚」と呼ばれ約50基の古墳があったようです。しかし、明治以降、道路工事などで壊され、数は減りましたが、出土品は、市の博物館で展示・保管されています。浅井町内にある古墳のうち、毛無塚古墳・桃塚古墳・愛宕塚古墳・小塞神社古墳・岩塚古墳の5基は、愛知県から史跡に指定されており、現在も見学をすることができます。



小塞神社古墳



岩塚古墳



毛無塚古墳



愛宕塚古墳



桃塚古墳

**\*例年10月に開催している「町民運動会」と、「一人暮らし老人のふれあいの集い」事業は、新型コロナウイルスの感染拡大のため、今年は残念ながら中止とさせていただきます。**